

平成22年7月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年12月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 サムコ 株式会社

コード番号 6387 URL <http://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門統括部長

(氏名) 田井 彰

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成21年12月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第1四半期の業績(平成21年8月1日～平成21年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第1四半期	653	△46.3	△62	△132.0	△78	△149.2	△47	△131.9
21年7月期第1四半期	1,216	—	195	—	160	—	148	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年7月期第1四半期	△8.07	—
21年7月期第1四半期	25.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年7月期第1四半期	7,815	5,845	74.8	996.73
21年7月期	7,782	5,982	76.9	1,020.14

(参考) 自己資本 22年7月期第1四半期 5,845百万円 21年7月期 5,982百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年7月期	—	—	—	—	—
22年7月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,810	△25.6	110	△72.1	105	△67.4	63	△74.3	10.74
通期	4,220	4.5	450	1.4	440	10.7	265	△12.9	45.18

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年7月期第1四半期	5,869,068株	21年7月期	5,869,068株
② 期末自己株式数	22年7月期第1四半期	4,534株	21年7月期	4,474株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年7月期第1四半期	5,864,569株	21年7月期第1四半期	5,865,063株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、4ページを参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年秋から続く世界同時不況に一部で回復の兆しが現れ始めたものの、企業収益の減少、個人消費の低迷、雇用情勢の悪化や円高など依然として景気の先行きは不透明な中で推移いたしました。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましても、在庫調整が進み底入れ感が見え始めましたが、国内の設備投資は極めて低い水準にとどまりました。

このような経済環境の中、当社では、前期末の受注残高が391百万円と大幅な落ち込みを受けてのスタートとなりました。研究開発用途向け装置の販売は国内が順調で第1四半期の売上高は219百万円(前年同期比24.1%増)となり、売上高比率も前年同期の14.5%から33.6%へと大幅に上昇いたしました。海外向けでは、中国、韓国での最終需要に対応した台湾のオプトエレクトロニクス分野向けの受注が急回復いたしました。売上高への寄与は第2四半期以降となり、第1四半期の海外売上高は222百万円(前年同期比66.7%減)となりました。輸出割合も前年同期の55.0%から34.1%へ減少いたしました。品目別売上高では、CVD装置がオプトエレクトロニクス分野でLED(Light Emitting Diode=発光ダイオード)用途向けの保護膜形成用途での販売に限られ、売上高は79百万円(前年同期比62.5%減)となりました。エッチング装置の売上高も、国内および海外共にLED用途に偏りその他生産用途向け大型装置の売上は回復せず444百万円(前年同期比31.7%減)となりました。洗浄装置は前年同期に伸びたLED用途向けの需要が減少し43百万円(前年同期比80.1%減)となりました。なお、第1四半期の受注高については、海外受注に加えて国内での補正予算関連プロジェクトによる研究開発機の受注が獲得でき1,587百万円(前年同期比37.7%増)と最盛期のレベルに回復し、第1四半期末の受注残高も1,325百万円と前期末比大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高が653百万円(前年同期比46.3%減)となりました。営業損失は62百万円(前年同期は営業利益195百万円)、経常損失は78百万円(前年同期は経常利益160百万円)、四半期純損失は47百万円(前年同期は四半期純利益148百万円)となりました。

(品目別売上高)

品目	売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
CVD装置	79,880	12.2	△62.5
エッチング装置	444,479	68.1	△31.7
洗浄装置	43,130	6.6	△80.1
その他装置	—	—	—
その他	85,523	13.1	△37.0
合計	653,013	100.0	△46.3

(用途別売上高)

用途	売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オプトエレクトロニクス分野	479,236	73.4	△39.4
電子部品分野	42,650	6.5	△63.1
シリコン分野	3,720	0.6	△95.8
実装・表面処理分野	22,500	3.4	24.3
表示デバイス分野	2,263	0.4	—
その他分野	17,120	2.6	△74.1
部品・メンテナンス	85,523	13.1	△37.0
合計	653,013	100.0	△46.3

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 当第1四半期末の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、4,585百万円で前期末に比べ50百万円増加いたしました。たな卸資産が126百万円、売上債権で売掛金が68百万円、受取手形が17百万円増加した一方、現金及び預金が264百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,230百万円で前期末に比べ16百万円減少しました。

主な減少要因は、建物と機械及び装置の減価償却であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,498百万円で前期末に比べ161百万円増加しました。買掛金が144百万円、賞与引当金が21百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、472百万円で前期末に比べ9百万円増加しました。退職給付引当金が6百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、5,845百万円で前期末に比べ137百万円減少しました。これは、利益剰余金が135百万円減少したことなどによります。自己資本比率は前期末比2.1%低下し74.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、仕入債務の増加144百万円がプラスに寄与した一方、税引前四半期純損失が78百万円(前年同期は税引前四半期純利益247百万円)となり、たな卸資産の増加126百万円、売上債権の増加85百万円、配当金の支払87百万円などにより、資金残高は前期末に比べ266百万円減少し、当第1四半期会計期間末には1,171百万円(前期末比18.5%減)となりました。当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は155百万円(前年同期に得られた資金432百万円)となりました。これは主に仕入債務の増加が144百万円であった一方、税引前四半期純損失が78百万円、たな卸資産の増加が126百万円、売上債権の増加が85百万円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6百万円(前年同期に使用した資金535百万円)となりました。その主な内容は定期預金の預入による支出1,445百万円に対して、定期預金の払出による収入が1,440百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は88百万円(前年同期に使用した資金89百万円)となりました。これは主に配当金の支払額が87百万円であったことによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高については前期末の受注残高が従来比大幅に減少した影響を受けましたが、一方、受注が急速に回復していることから、平成21年9月10日付の当社「平成21年7月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
- ③ 税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
記載すべき重要な事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,870,636	3,134,868
受取手形	36,344	18,640
売掛金	1,057,988	989,875
製品	4,777	750
原材料及び貯蔵品	62,918	63,099
仕掛品	368,863	246,074
前払費用	8,349	5,998
繰延税金資産	48,178	16,109
未収消費税等	5,502	1,097
未収還付法人税等	54,172	54,172
その他	67,413	4,399
貸倒引当金	△107	△100
流動資産合計	4,585,036	4,534,985

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	844,487	844,487
減価償却累計額	△417,827	△409,716
建物(純額)	426,659	434,770
構築物	23,328	23,328
減価償却累計額	△17,859	△17,601
構築物(純額)	5,469	5,727
機械及び装置	373,575	373,259
減価償却累計額	△330,906	△324,079
機械及び装置(純額)	42,668	49,179
車両運搬具	39,794	39,794
減価償却累計額	△32,445	△31,657
車両運搬具(純額)	7,349	8,136
工具、器具及び備品	147,859	147,561
減価償却累計額	△132,007	△130,736
工具、器具及び備品(純額)	15,852	16,825
土地	2,343,424	2,343,424
リース資産	3,441	3,441
減価償却累計額	△717	△573
リース資産(純額)	2,724	2,868
建設仮勘定	12,650	12,650
有形固定資産合計	2,856,798	2,873,582
無形固定資産		
特許権	14,543	15,689
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	1,951	1,319
水道施設利用権	3,731	3,801
無形固定資産合計	23,188	23,772
投資その他の資産		
投資有価証券	24,953	27,421
関係会社株式	20,080	20,080
出資金	5,000	5,000
従業員に対する長期貸付金	210	255
繰延税金資産	201,172	199,804
差入保証金	56,967	56,967
保険積立金	29,322	29,318
その他	13,200	11,400
投資その他の資産合計	350,906	350,246
固定資産合計	3,230,893	3,247,601
資産合計	7,815,930	7,782,587

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	527,517	382,567
短期借入金	800,000	800,000
未払金	43,571	62,999
未払法人税等	3,750	9,172
未払費用	27,482	26,169
前受金	18,944	117
預り金	23,715	18,337
賞与引当金	38,498	16,700
役員賞与引当金	—	4,200
製品保証引当金	14,300	16,600
設備関係未払金	595	—
流動負債合計	1,498,374	1,336,864
固定負債		
リース債務	2,724	2,868
長期未払金	136	143
退職給付引当金	182,179	175,767
役員退職慰労引当金	287,137	284,200
固定負債合計	472,177	462,979
負債合計	1,970,551	1,799,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,213,787	1,213,787
資本剰余金		
資本準備金	1,629,587	1,629,587
資本剰余金合計	1,629,587	1,629,587
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,607,000	2,457,000
繰越利益剰余金	341,380	626,681
利益剰余金合計	3,007,880	3,143,181
自己株式	△6,170	△6,102
株主資本合計	5,845,084	5,980,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	293	2,289
評価・換算差額等合計	293	2,289
純資産合計	5,845,378	5,982,743
負債純資産合計	7,815,930	7,782,587

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
売上高	1,216,100	653,013
売上原価	630,126	388,533
売上総利益	585,974	264,479
販売費及び一般管理費	390,369	327,030
営業利益又は営業損失(△)	195,604	△62,550
営業外収益		
受取利息	2,296	3,295
雑収入	146	292
営業外収益合計	2,443	3,587
営業外費用		
支払利息	2,251	2,400
為替差損	35,692	17,348
雑損失	25	29
営業外費用合計	37,968	19,778
経常利益又は経常損失(△)	160,079	△78,742
特別利益		
受取和解金	87,240	—
特別利益合計	87,240	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	247,319	△78,742
法人税等	98,853	△31,410
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,465	△47,332

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	247,319	△78,742
減価償却費	22,766	17,898
受取利息及び受取配当金	△2,296	△3,295
支払利息	2,251	2,400
為替差損益 (△は益)	31,425	17,107
受取和解金	△87,240	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,005	21,798
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,600	△4,200
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	900	△2,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,000	6,411
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,060	2,937
売上債権の増減額 (△は増加)	335,617	△85,809
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,661	△126,634
仕入債務の増減額 (△は減少)	116,256	144,949
未払費用の増減額 (△は減少)	1,170	1,224
前受金の増減額 (△は減少)	△33,928	18,826
預り金の増減額 (△は減少)	9,482	5,378
その他	△4,962	△90,222
小計	616,444	△152,271
利息及び配当金の受取額	2,296	3,295
利息の支払額	△1,909	△2,298
和解金の受取額	87,240	—
法人税等の支払額	△271,946	△3,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,126	△155,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,440,395	△1,445,035
定期預金の払戻による収入	936,772	1,440,186
有形固定資産の取得による支出	△7,595	△538
投資有価証券の取得による支出	△896	△896
関係会社株式の取得による支出	△20,080	—
その他	△3,400	△703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535,596	△6,987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
自己株式の取得による支出	△274	△68
配当金の支払額	△87,978	△87,968
その他	△143	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,895	△88,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,000	△15,864
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△221,366	△266,038
現金及び現金同等物の期首残高	1,453,215	1,437,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,231,849	1,171,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：千円)

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)		前事業年度 (自 平成20年8月1日 至 平成21年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
CVD装置	265,713	20.6	238,899	26.5	468,778	13.4
エッチング装置	675,472	52.4	490,250	54.5	2,159,967	61.9
洗浄装置	203,733	15.8	69,775	7.8	347,213	9.9
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	143,632	11.2	100,985	11.2	517,103	14.8
合計	1,288,551	100.0	899,910	100.0	3,493,062	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注実績

(単位：千円)

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)		前事業年度 (自 平成20年8月1日 至 平成21年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	182,950	290,850	560,886	511,006	258,500	30,000
エッチング装置	755,552	1,260,479	889,809	760,920	1,706,583	315,590
洗浄装置	61,733	57,720	51,276	18,750	246,340	10,604
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	152,861	80,316	85,737	35,034	466,561	34,821
合計	1,153,097	1,689,365	1,587,709	1,325,711	2,677,985	391,015

(注) 金額は販売価格によっております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)		前事業年度 (自 平成20年8月1日 至 平成21年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
CVD装置	213,000	17.5	79,880	12.2	549,400	13.6
エッチング装置	650,584	53.5	444,479	68.1	2,546,503	63.0
洗浄装置	216,674	17.8	43,130	6.6	448,398	11.1
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	135,841	11.2	85,523	13.1	495,036	12.3
合計	1,216,100	100.0	653,013	100.0	4,039,338	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次の通りであります。

(単位：千円)

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)		前事業年度 (自 平成20年8月1日 至 平成21年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
アジア	615,702	92.1	222,981	100.0	1,589,522	85.6
北米	52,911	7.9	—	—	255,694	13.8
欧州	—	—	—	—	11,163	0.6
輸出販売高合計	668,614 (55.0%)	100.0	222,981 (34.1%)	100.0	1,856,381 (46.0%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成21年7月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,216,100
II 売上原価	630,126
売上総利益	585,974
III 販売費及び一般管理費	390,369
営業利益	195,604
IV 営業外収益	2,443
V 営業外費用	37,968
経常利益	160,079
特別利益	87,240
税引前四半期純利益	247,319
法人税等	98,853
四半期純利益	148,465

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成21年7月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	247,319
減価償却費	22,766
受取利息及び受取配当金	△2,296
支払利息	2,251
為替差損	31,425
受取和解金	△87,240
賞与引当金の増加額	28,005
役員賞与引当金の減少額	△22,600
製品保証引当金の増加額	900
退職給付引当金の増加額	6,000
役員退職慰労引当金の減少額	△4,060
売上債権の減少額	335,617
たな卸資産の増加額	△29,661
仕入債務の増加額	116,256
未払費用の増加額	1,170
前受金の減少額	△33,928
預り金の増加額	9,482
その他	△4,962
小計	616,444
利息及び配当金の受取額	2,296
利息の支払額	△1,909
和解金の受取額	87,240
法人税等の支払額	△271,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,126
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,440,395
定期預金の払戻による収入	936,772
有形固定資産の取得による支出	△7,595
投資有価証券の取得による支出	△896
関係会社株式の取得による支出	△20,080
その他	△3,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535,596

	前年同四半期 (平成21年7月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△1,500
自己株式取得による支出	△274
配当金の支払額	△87,978
その他	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,895
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,000
Ⅴ 現金及び現金同等物の減少額	△221,366
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,453,215
Ⅶ 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,231,849